

# 伊賀警察署協議会議事録

令和5年度第3回伊賀警察署協議会	
日 時 場 所	令和6年2月9日（金）午後3時～午後5時15分 伊賀警察署3階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会 6名 上田功介委員、大井恵子委員、川口恵美子委員、北村諭委員、堤真人委員、堀川弘子委員</p> <p>2 警察署 8名 署長、副署長、会計課長、警務課長、生活安全課長、地域課長、交通課長、警備課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
<b>議 事 概 要</b>	
<p>1 特殊詐欺の現状について（いが悪徳バスターズによる寸劇の視察）</p> <p>2 伊賀警察署速度取締り指針の説明（交通課長）</p> <p>3 警察署協議会委員からの事前質問に対する回答</p> <p>(1) パトロールに対する謝辞          &lt;委員&gt; 前回の協議会で、パトロールを要望したところ、対応していただいたようで住民から感謝の声が寄せられた。          改めて感謝申し上げる。  <b>【地域課長】</b> 今後も地域の実態に即したパトロールに努める。</p> <p>(2) 小学生に対する自転車講習会の開催について          &lt;委員&gt; 自転車を取り巻く環境は変化しているので、小学校で自転車講習を実施してみてもどうか。  <b>【交通課長】</b> いくつかの小学校では依頼を受け、自転車講習会を開催している。          引き続き、小学校と連携して自転車講習会を行っていく。</p> <p>(3) 交差点での見守り活動について          &lt;委員&gt; 交差点で見守り活動をしていただくよう要望したところ、迅速に対応していただいた。感謝申し上げます。  <b>【地域課長】</b> 防犯ボランティアと連携し、交差点での見守り活動を継続していく。</p> <p>(4) 自動車運転免許証の返納について          &lt;委員&gt; 伊賀市で運転免許証を返納する割合が多い年代を教えてください。  <b>【交通課長】</b> 令和5年中、約260名の方が運転免許証を返納しており、特に、70歳以上の方の返納率が高いように思われる。</p> <p>(5) ミーポ君の広報利用について          &lt;委員&gt; 交通安全講習や広報啓発活動で忍者姿のミーポ君が利用されているが、封筒や広報紙等にも掲載するなど活用してはどうか。  <b>【地域課長】</b> 伊賀警察署が主催するイベントにおいて、広報紙に掲載するなど、積極的に活用していく。</p> <p>(6) 各課の業務について</p>	

<委員> 業務を通じて特筆すべき事例等があれば教えていただきたい。

【警務課長】 刑事課では、空き家を狙った窃盗集団を逮捕したため、空き巣被害が大幅に減少した。

警務課では、職員に対する教育訓練の充実強化を図り、各種事故防止等に努めた。

【会計課長】 伊賀警察署のトイレの改修や屋上の防水工事、交番の自動ドアなどの修繕を行い、施設を長期にわたって使用できるよう整備している。

【地域課長】 新型コロナウイルスの5類移行等に伴い、イベントや祭りが再開されたため、交通規制や雑踏警備を実施し、各種事故防止に努めた。

【生活安全課長】 新型コロナウイルスの5類移行等に伴い、窃盗や特殊詐欺の認知件数が増加傾向にある。

特に、特殊詐欺は、認知件数、被害額ともに倍増している。

また、フィッシング詐欺等に起因する不正送金事案が急増しており、県内では101件（前年比+99件）、伊賀市内で3件発生しているため、あらゆる機会を通じて注意喚起を行っている。

#### (7) 各課の取組及び今後の課題について

<委員> 各課の取組や今後の課題について教えていただきたい。

【警務課長】 刑事課では、若手警察官の育成に力を入れており、積極的に現場へ派遣したり、取調べを行わせることで、多様な経験を積むことができるようにしている。

警務課では、月に1回、各課長による職務倫理教養や実践的な訓練を行うことで、高い倫理観と職務執行能力が身に付くように努めている。

また、ワーク・ライフ・バランスにも力を入れている。

【会計課長】 令和6年度には、官舎の修繕を行う予定である。

【地域課長】 長野県で発生した猟銃使用の殺人事件を受け、現場臨場する警察官には、受傷事故防止を促すとともに、的確かつ迅速な現場対応ができるように、実践的な訓練などを行っている。

また、新人警察官に対しては、指導員による細やかな指導を行っている。

【交通課長】 速度超過による事故は、死亡事故につながる可能性が高いため、速度取締りを強化しているが、積極的に警察官の姿を見せることで、速度の抑制を図っている。

また、自転車利用者に対する交通ルールの周知を図るため、人通りの多い場所での広報活動を実施している。

【生活安全課長】 特殊詐欺が増加していることから、伊賀地区防犯協会と連携して、自動通話録音警告機の購入斡旋や貸出しを行っている。

このほか、年金受給日には、特殊詐欺被害の未然防止に向けた広報啓発イベントを実施している。

特殊詐欺の手口が巧妙に変化しているため、手口に応じタイムリーな広報・啓発を行う必要があると考えている。

【警備課長】 安倍元総理に対する銃撃事件や、岸田総理に対する襲撃事件を受け、主催者と連携したテロ対策・ローンオフエンダー対策に取り組んでいる。

また、事業者と連携して、爆発物の原材料を購入する不審な人物の発見にも努めている。

#### 4 意見交換

##### (1) 伊賀警察署管内における交通事故多発場所について

<委員> 令和5年中の交通事故情勢は、例年と比べて変化しているのか。

【交通課長】 特に変化は見られない。  
例年、小田町地内での交通事故が最も多い。

(2) 外国人の事故について

<委員> 市内で自転車に乗車した外国人を見かけるが、外国人の交通事故件数の推移はどうか。

【交通課長】 外国人の交通事故件数は、年々増加傾向にある。  
外国人を雇用している企業に対しては、交通ルールに関する教育の実施について働き掛けていく。

(3) 装備品について

<委員> 能登半島地震に関するニュースで、自衛官の装備品のうち、自費で購入している物もあると報道がされていたが、警察の装備品はどうか。

【署長】 警察装備品は適切に貸与されており、破損や老朽化したものは、その都度交換している。

5 警察署長謝辞

備	考
---	---